

社会科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025 年（令和 7 年）10 月 31 日（金）
- 2 学年 第 4 学年 2 組（17 名）
- 3 単元名 残したいもの 伝えたいもの（東京書籍）
～古くから残るもの発見マップを作るけん！～
- 4 単元について

（1）単元観

本単元は、小学校学習指導要領社会第 4 学年の目標及び内容（4）ア（ア）（ウ）及びイ（ア）を受けて設定したものである。県内の伝統や文化について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して調べたりまとめたりすることで、文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考えたり表現したりすることができる単元である。

「壬生の花田植」や「厳島神社」などといった広島県の祭りや郷土芸能、建物などを調べることで、県内には古くから残るものが多くあり、それらには地域の誇りとしてまた、文化的に価値あるものとして、未来に伝えたいという人々の思いが込められていることを理解することができる。また、福山市の「とんど」や「二上り」などを調べることで、他の文化財や年中行事と比較しながらその様子や人々の願い・努力を考えたり、より身近なものとして自分たちが保存や継承のためにできることを考えたりすることができる。さらに、文化財や年中行事について学習する過程で、図書資料やパンフレット、タブレット等を活用して情報を集めたり、集めた情報をまとめて発表したりすることで、情報収集・活用能力を身に付けさせることができる単元でもある。

（2）児童観

本学級の児童は、第 3 学年「身近な地域や自分たちの市の様子」「市の様子の移り変わり」において、福山市の様子や古くから残る建造物、時間の経過によって市や人々の生活の様子が移り変わってきたことなどについて学習している。とんど祭りや盆踊り大会などの地域で昔から開催されている行事に参加している児童は一定数いる。しかし都市部の学校ということもあり、県内には古くから残る伝統や文化がたくさんあることや文化財や年中行事の様子を知る児童は少ない。地域の行事についても、その歴史や人々の願いや努力を理解して参加している児童はほとんどいないと考えられる。

図書資料やタブレットを使って情報を集めたり、集めた情報をまとめたりすることについては、必要な情報を素早く見つけ適切にまとめられる児童もいれば、どこに必要な情報があるのか見つけることができなかつたり、情報を丸写ししたりしてしまう児童もいるなど、情報収集・活用能力に大きな差がある。

図書館についてのアンケートでは、「図書館を使うことで自分の学びが深まっていると感じる」と回答した児童は 94.1% であり、学校図書館を学習で利用することの効果を多くの児童が実感している。一方で、「分からないことや興味関心があることを図書館にある本で調べようと思う」と回答した児童は 76.5% であり、自分から進んで図書館や図書館資料を利用して学習しようとする態度に課題が見られた。

(3) 指導観

本単元では、第一次で児童にとって身近な古くから残るもの想起させ、広島県にある古くから残るものにはどのようなものがあるか調べるところから学習をスタートさせる。調べる中で、広島県には古くから残る祭りや郷土芸能、建物などがたくさんあることに気付かせる。また、国や広島県に認定されている文化財は、合計 1,271 点であること（出典：広島県教育委員会ホームページ）を提示し、児童が驚きとともに文化財等に興味をもったり疑問をもったりできるようにする。

第二次では、「壬生の花田植」と「厳島神社」を取り上げて、それらの様子や人々の願い・努力について詳しく調べていく。調べる際には、始まりや現在に至るまでの変遷などの歴史や今まで受け継がれてきた理由など視点を明確に提示することで、適切に情報を収集できるようにする。また、調べながらグループで交流したり、全体で確認したりすることでそれらの様子や人々の願い・努力などを一人一人が確実に捉えられるようにし、この後の活動で一人一人が主体的に調べていけるようにする。

第三次では、「壬生の花田植」と「厳島神社」を調べたときの視点や、調べて分かったことを基に、児童一人一人が興味をもった文化財等について、それらの様子や人々の願い・努力について詳しく調べていく。詳しく調べる前に、「壬生の花田植」や「厳島神社」と児童が選択した文化財等を比較しながら、今まで受け継がれてきた理由を予想させることで、見通しをもって調べたり自分の予想を確かめるために主体的に調べたりできるようにする。また、一人一人が調べた文化財等の様子や人々の願い・努力について白地図にまとめ、「古くから残るもの発見マップ」を制作することで、共通点や相違点に気付きやすくなるようにし、それに加えて県内の主な文化財や年中行事の名称や位置などが分かるようになる。

第四次では、第三次までに学習してきたことを基に、県内の文化財等の良さや課題について振り返ったり考えたりする。特に地域の文化財等については実際に地域の方に話を聞くことで、若い世代で祭りを運営したり参加したりする人が少なくなっているという課題を捉えられるようにする。そうすることで保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えられるようにする。

学校図書館の活用については、進んで図書館や図書館資料を利用して学習しようとする児童を育成することを目指して行っていく。そこで、学校図書館に既にある図書資料に加えて、地域の図書館の資料や文化財等について書かれたパンフレット等も用意する。そうすることで自然と調べたい文化財等についての情報を得るために図書館資料を活用し、進んで図書館を利用して学習しようとする児童を育成していく。

5 本単元の目標と評価規準

(1) 本単元の目標

- 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解するとともに、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。 【知識及び技能】(4) ア (ア) (ウ)
- 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考えたうえで、地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために、自分たちが協力できることを考え、表現する。

【思考力、判断力、表現力等】(4) イ (ア)

- 県内の伝統や文化について、課題解決に向けて意欲的に追究したり、伝統や文化の保護や継承関わって、自分たちにできることを考えたりしようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準 () 内は鷹取中学校区育成する力(資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	思考・判断・表現 (課題発見・解決力)	主体的に学習に取り組む態度 (主体性)
<p>①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、県内の文化財や年中行事の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や文などにまとめ、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。</p>	<p>①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、問い合わせを見いだし、県内の文化財や年中行事の様子について考え表現している。</p> <p>②文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えたり、学習したことと基に、地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために、自分たちが協力できることを考えようとしている。</p>

6 単元計画(全13時間)

次	時	学習活動案	学校図書館活用の ポイント	評価規準
一	1	○県内に残る古いものの資料からわかったことや疑問に思ったことを話し合う。	・県内の文化財や年中行事について書かれた図書資料から、広島県には古くから残る祭りや郷土芸能、建物などがたくさんあることを読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内にある文化財や年中行事について、現在にいたるまでの経過に着目して、問い合わせをしている。 (ノート・発言)【思①】
	2	○学習問題をつくり、予想したり学習計画を立てたりする。		<ul style="list-style-type: none"> ・県内の伝統や文化について、予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもつてている。(ノート・発言)【主①】
<p>【学習問題】</p> <p>広島県に古くから残るものは、なぜ今まで残っているのだろう。</p>				

二	3	○壬生の花田植の様子や人々の願い・努力などを調べ、「古くから残るもの発見マップ」にまとめる。	・壬生の花田植や厳島神社に関する図書資料やパンフレットから、県内の文化財や年中行事の様子、人々の願い・努力を読み取る。	・必要な情報を集め、読み取り、壬生の花田植や厳島神社の様子を理解している。 (ワークシート)【知①】
	4	○厳島神社の様子や人々の願い・努力などを調べ、「古くから残るもの発見マップ」にまとめる。		・保存・継承する人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えている。 (ワークシート・発言)【思②】
	5	○壬生の花田植と厳島神社についてまとめ、共通点と相違点を考える。		
三	6	○壬生の花田植と厳島神社以外の文化財等から調べるものを見つけて、なぜ今まで残っているのか予想して、調べる計画を立てる。	・県内や鷹取中学校区の文化財や年中行事について書かれた図書資料やパンフレット等から、調べたいものを決める。また、県内の文化財や年中行事の様子、人々の願い・努力を読み取る。	・県内の伝統や文化について、予想や計画を立て、調べる見通しをもっている。 (発見カード・ノート)【主①】
	7	○自分で決めた文化財等について、それらの様子や人々の願い・努力などを調べる。		・保存・継承する人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けて、人々の願いや努力について考えている。 (ワークシート・発言)【思②】
	8 (本時)	○調べたことを交流し、「古くから残るもの発見マップ」にまとめる。		・調べたことを白地図にまとめ、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。(ノート・発言)【知②】
	9 10 11			
四	12 13	○調べてきた文化財等の良さや課題をふり返る	・図書資料やパンフレット等から、文化財	・地域の伝統や文化を保護したり継承したりするために、自

	ことで、伝統や文化を保護したり継承したりするために自分たちができるることを考え、学習のまとめをする。	等の良さや課題を確認する。	分たちが協力できることを考えようとしている。 (ノート・発言)【主②】
--	--	---------------	--

7 本時の目標

広島県に古くから今まで残っている文化財等について、自分が調べたい文化財を決めて、なぜ今まで残っているのかを予想し、予想をもとに調べる計画を立てる。

8 本時の展開

展開	◎学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	<p>◎前時までの学習をふり返り、壬生の花田植や厳島神社が今まで残っている理由を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壬生の花田植には、伝統があって地域の誇りとして未来に伝えたいという思いがあった。 ・厳島神社は、昔の人の考え方方がわかる貴重な文化財だから、未来に伝えたいと考えられていた。 <p>◎広島県には文化財がたくさんあると学習したことを確認し、めあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんどや盆踊りなど地域のお祭りがあった。 ・神社、お寺などの古くから残っている建物もあった。 ・神楽やおどりなどの芸能もいろいろな場所で残っている。 ・これらのものが残っている理由は、壬生の花田植や厳島神社と同じなのかな。 	<p>○前時までにまとめた「古くから残るもの発見マップ」を基に、文化財の様子や人々の願い・努力を確認する。</p> <p>○古くから残る文化財には、祭りや郷土芸能、建物などがあったことを確認する。</p>	

◎ 古くから残るものがなぜ今まで残っているか予想して、調べる計画を立てよう。

展開 (35分)	<p>◎図書資料やタブレットを利用して、古くから残るものを調べ、「古くから残るもの発見カード」に調べて分かったことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーフェスティバルは広島市のお祭りで、毎年5月に行われている。 ・福山市にある草戸稻荷神社では、毎年正月に多くの人が初詣をしている。 ・神楽は、広島県の各地に昔から残っていて、芸北神楽や備後神楽などがある。 <p>◎「古くから残るもの発見カード」をもとに文化財や年中行事の様子や予想を交流する。</p>	<p>○「古くから残るもの発見カード」には、場所やいつからあるのかなどの文化財の様子となぜ今まで残っているのか予想を書けるようにする。</p> <p>表現方法の指導</p> <p>○ベン図にまとめながら既習の文化財と比較する。</p>	<p>学校図書館利用のポイント 県内の文化財や年中行事について書かれた図書資料やパンフレット等から、調べたいものを決める。</p>
-------------	--	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> 原爆ドームは世界遺産に認定されている重要な建物であり、戦争があったことを忘れないようにするために残っているのではないか。 やっさ祭りが毎年開催されているのは、地域を盛り上げるためにあるのではないか。 神楽が今でも受け継がれているのは、踊っている人たちの願いがあるからではないか。 <p>◎予想したことをもとにどのような方法で調べていくか計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> お祭りを運営する人の思いについてパンフレットを見たり、インタビューをしたりすることで調べたい。 神楽について本から今まで残っている理由を見つけたり、インターネットで動画を見たりして調べたい。 	<p>較させることで、共通点や相違点に目を向けて、人々の願いや努力があったから今に受け継がれていることに気付けるようになる。</p> <p>深く考える仕かけ</p>	<p>◆県内の伝統や文化について、予想や計画を立て、調べる見通しをもつていい。 (発見カード・ノート)</p>
終末 (5分)	◎本時のふり返りをする。	○本時の学習をふり返り、次の時間から何をどのように調べていくのか確認する。	学びをつなぐふり返り

例：◎今でも毎年やっさ祭りやばら祭りなどが開催されるのは、運営する人の思いがあるからと考えられるから、パンフレットを使って調べたり、インタビューをして確かめたりしたい。

9 板書計画

◎ 古くから残るもののがなぜ今まで残っているか予想して、調べる計画を立てよう。

文化財

- とんどや盆踊りなどの地域のお祭りがあった。
- 神社、お寺などの古くから残っている建物もあった。
- 神楽やおどりなどの芸能もいろいろな場所で残っている。

計画

- 図書館の本やパンフレット
- タブレット（インターネット）
- インタビュー・見学



◎今でも毎年やっさ祭りやばら祭りなどが開催されるのは、運営する人の思いがあるからと考えられるから、パンフレットを使って調べたり、インタビューをして確かめたりしたい。